



テクニカラー

The Godfather

ゴッドファザー

製作 アルバート・S・ラディ
監督 フランシス・フォード・コッポラ
原作 マリオ・プーゾ
〈早川書房刊〉
作曲 ニーノ・ロータ
〈サントラ盤■パラマウントレコード〉



マーロン・ブランド

アル・パシーノ/ジェームズ・カーン
リチャード・カステラーノ/ロバート・デュバル/アル・マルティーノ
パラマウント映画■CIC配給



スタッフ

製作.....アルバート・S・ラディ
監督.....フランシス・フォード・コッポラ
脚色.....マリオ・プーゾ
フランシス・フォード・コッポラ
原作.....マリオ・プーゾ
撮影.....ゴードン・ウィリス
音楽.....ニーノ・ロータ

テクニカラー

ゴッドファーザー

物語を織りなす コルレオーネ・ ファミリーと概略



① マーロン・ブランド ② モーガナ・キング



③ ジェームズ・カーン ④ ジュリー・グレッグ



⑤ ジョン・カザール



⑥ シモネッタ・ステファネリ



⑦ アル・パシーノ



⑧ ダイアン・キートン



⑩ ロバート・デュバル ⑪ テレ・リブラーノ



⑫ リチャード・カステラーノ ⑬ エイブ・ビゴダ



⑨ トリア・シャイア⑥と
ジャンニ・ルッソ

①ゴッドファーザーという最大の尊称で呼ばれるビトー・コルレオーネ。彼が一代で築き上げたこのファミリーは、すべてのマフィア組織の中で最大、最強。その偉大な力は他の追随を許さず、最愛の家族を守ってきた。②ビトーの妻。③ビトーの長男ソニー。激しい性格でプレーキの利かないところがあり、父を狙う他のファミリーの罠にはまり、非業な最後をとげる。④ソニーの妻サンドラ。⑤次男フレド。優柔不断な性格で一家の信望がない。⑦三男マイケル。第二次大戦の勇士で、家の仕事につくことを嫌っていたが、父が狙撃され、マフィアの血を呼び起こされる。なおも暗躍する敵と買収された警部を射殺してイタリアに逃げ、土地の娘アポロニア⑥と結ばれるが、彼女はマイケルの身替りとなって殺される。アメリカに戻ったマイケルは父の後を継ぎ、敵をことごとく破り、昔の恋人ケイ⑧と結婚する。⑨ビトーの長女コニーと夫のカルロ。⑩ソニーの親友で、ビトーに認められ養子となったトム・ハーゲン。冷静、沈着で、一家のコンシリオリ(相談役)としてビトー、そしてマイケルを助ける。⑪ハーゲンの妻テレサ。ビトーの面腕となってコルレオーネ・ファミリーを築いてきた大幹部クレメンツァ⑫とテッシオ⑬。

ゴッドファーザー誕生と受難

映画史上最大の超大作としてあまりにも名高いこの映画は、その年のアカデミー作品賞、主演男優賞(マーロン・ブランド)、脚本賞などを受賞し、昨年公開された続編の「ゴッドファーザーPART II」でも、作品賞、監督賞、脚本賞、作曲賞、助演男優賞(ロバート・デ・ニーロ)などを獲得して、アカデミー史上空前の記録を樹立した、映画の歴史を飾るにふさわしい作品である。

しかし、マリオ・プーゾ原作のこの作品の映画化までには幾多の困難があった。アメリカ最大の犯罪組織マフィアを真っ正面から描いた原作のため、そのボスで悪名高きジョセフ・コロンボは組織を動員して四万人にも及ぶ製作反対の大集会をひらいた。これを支持する上・下院議員などからも百通を越す抗議文が寄せられ、大きな圧力となり、予定されていたピーター・イエーツ監督やコスタ・ガブラス監督に断われたり、製作者のアルバート・S・ラディの車に銃弾が射ちこまれたりした。またパラマウント社には、爆破の脅迫騒ぎが二度も起こったり、買収された警官の妨害さえあり、実在するマフィアの力が随所に現われ、製作が危ぶまれた。

プロデューサーのラディは、こうなっては自分がコロンボに会う他に手はないと決心。劇中では「マフィア」やこれに類する言葉を使わないことと、多額(二百万ドルと言われる)の落し前を条件に、話し合いは成功した。こうしたセンセーショナルな話題につつまれてこの超大作は動き出した。

「ゴッドファーザー」とは

名付親の意味で、家族や仲間たちが愛情をこめて呼ぶ最大の尊称。組織(マフィア)のボス。

「マフィア」とは

マフィアの語源については異説もあるが、イタリア語の「MORTE ALLA FRANCIA ITALIA ANELA」(フランス人の死はイタリアの叫びだ!)という頭文字をとってMAFIAとしたというのが定説である。これは1282年、当時フランスに支配されていたシシリー島の住民が秘密組織をつくって反抗した時の合言葉だったという。ところが、19世紀に入ってマフィアの性格が一変し、「犯罪組織」としてイタリアの暗黒街に君臨するようになった。そしてイタリア系の移民により、この組織もアメリカに渡り、アメリカ・マフィアの誕生となったわけである。

アメリカ・マフィアのほとんどが、シシリーやナポリ出身者、またはその子弟で構成されているのは、イタリア・マフィアと同じである。その組織は各ファミリー(家族)に別れており、その頂点にボスがいる。ボスには相談役が一人つき、その下にアンダー・ボス、さらに幹部、そして兵隊という完全なピラミッド型を形成している。

現在、彼等は自分たちの組織を呼ぶのに、ラ・コーサ・ノストラ(われわれのもの)をはじめ「事務所」や「部隊」などと言い、マフィアとは絶対に言わない。

パラマウント映画/CIC配給

監督には脚本家としての才能が先行していた30才を出たばかりのフランシス・フォード・コッポラが契約され、原作者プーゾと共に脚色も担当した。監督同様、多くの時間と人々の関心がそそがれた主役のゴッドファーザーには、数々の名優たちを押えて、自らメイク・アップして演じたテスト・フィルムをパラマウントに送りつけたマーロン・ブランドが、監督と原作者の推薦をうけて決定した。その演技はまさに偉大なゴッドファーザーそのものと激賞され、この映画の成功は彼の力に負うところも大である。

共演者は、この映画の好演により大スターに成長したと言っても過言ではないアル・パシーノ(「セルピコ」「狼たちの午後」)、ジェームズ・カーン(「シンデレラ・リパティ」「ローラー・ボール」)、ロバート・デュバル(「組織」「カンパセーション」)や、ジョン・カザール(狼たちの午後)、ダイアン・キートンらは、いずれも「PART II」で元気なところを見せている。他にフランク・シナトラがモデルと騒がれたジョニーには、歌手のアル・マルティーノ、「ある愛の詩」のジョン・マーレー、イタリアの名優リチャード・カステラーノなどや、広く作家、プロレスラー、ジャズ・シンガーを配している。

音楽は「太陽がいっぱい」「ロミオとジュリエット」などイタリア音楽界の第一人者ニーノ・ロータで、哀調をおびた旋律はあまりにも有名。